

おめでとう！角田夏実さん、 パリ・オリンピックの金メダル第一号

去る7月26日、パリ・オリンピックの柔道女子48キログ級で本学出身の角田夏実さんが、日本人金メダル獲得の第一号となり、その後の日本選手団の大躍進の先駆けとなりました。この輝かしい成果を収められた角田さんに対し、会員の皆様とともに心から祝福のを送りたいと思います。これまで圧倒的な強さを示してこられた角田さんへの期待の声は関係者の間でもつとに挙がっておりましたが、大方の予想通り角田さんは順調に勝ち上がって、決勝戦

でもモンゴルのバブドルジ選手に得意の巴投げで優勢勝ちしました。

本会では創立二十周年記念事業の一環として来る11月2日(土)に角田さんをお招きして講演会を開催する予定です(詳細は後日、本会のホームページでご案内します)。これからの角田さんを激励するためにもこの講演会を盛大に挙行したいと思いますので、会員の皆様におかれましては学芸大学キャンパスまで足をお運びいただき、あわせて学生たちの小金井祭諸行事にも参加していただければと思います。



「学芸ロゲイニング」に参加しよう！

今秋、辟雍会では20周年記念特別企画の一つとして小金井祭期間中に「学芸ロゲイニング(GAKUGEI ROGAINING)」を実施いたします。このイベントは、参加者がチームを作って大学内のチェックポイントを探し出し、その写真を撮って、各ポイントに割り当てられた得点を獲得するという野外スポーツです。この企画は、本学の物理学教室で昨年の春から始めたものですが、これを通して参加する人たちが学芸大学の諸施設の所在を知り、併せて互いの友情を深めることをめざしています。

合計獲得得点の高いチームには辟雍会から景品を贈呈いたします。辟雍会では、辟雍会ネーム入りボールペンや学芸大学学生歌「若草もゆる」のCD、辟雍機関誌「辟雍」などの景品を用意しております。ふるってこの企画に参加し、景品をゲットしてください。

なお、このイベントの開催期間は2024年11月1日(金)～2024年11月4日(月)です。小金井祭参加団体の構成員で作られたチームであれば本学学生以外の方も参加できます。詳細は、辟雍会HPあるいはQRコードで確認してください。(辟雍会事業部長 荒川悦雄)



News

【訃報】2件

① 林 静代さん(6月7日逝去 享年82歳)

辟雍会の会計担当事務を本会創立当初から務めてこられた林静代さんは、本年3月体調不良で一時入院され、重度の肺炎と診断されても酸素吸入器を事務所に設置して会務を続ける姿勢を示しておられました。しかし、その後の精密検査の結果、癌の全身転移を告げられ、3月末からやむなく自宅での闘病生活に入られました。担当医師からは余命1～2週という厳しい宣告を受けつつも、気丈に飼い猫の世話や食事の準備を続けて来られました。しかし、本年度の理事会が無事終了し、飼い猫の引き取り手が決まると間もなく重篤状態に陥られ、昏睡状態のまま清瀬の東京病院で息を引き取られました。

林さんは、長年、大澤一美さんとともに辟雍会事務所を守り、会の事務全般にわたり行き届いた仕事をしてくださりました。そのおかげで辟雍会関係者が大過なく会の運営に携わることができたと言って過言ではありません。

深く感謝の意を表するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

② 佐藤正光先生(6月10日逝去 享年63歳)

脳梗塞で2年以上の長期にわたり療養を続けて来られた本学日本語・日本文学研究講座の中国古典文学分野の佐藤正光先生が入院先の病院でお亡くなりになりました。

「辟雍会」という本会の名称の名付け親は佐藤先生です。「辟雍」とはもともと中国周代の最高学府の名称であり、佐藤先生はこの名を借用し、ここに東京学芸大学の卒業生が教員養成系の最高学府で学んだことに誇りと矜持をもって社会で活躍できるようにという思いを込められました。私たちはこうした佐藤先生の高いご見識を改めて深く心に留めておきたいと思います。「辟雍」という耳慣れない語に当初違和感を覚えたり、「読みにくい」という人もありましたが、長年使い続けているうちにすっかり定着するようになりました。在職中に早逝された佐藤先生のご冥福を祈りつつ、先生のご遺志を汲んで、辟雍会のますますの発展を期してまいりたいと思います。

